

やさいレポート（令和8年8月号）



にんじん



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○103 円/kg（8月4日）

➢ 平年比：77%

○8月の価格見通し

前半は平年を下回って
推移

後半は平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○448 円/kg

（7月10日全国平均）

➢ 前月比：108%、平年比：104%

➢ 東京：216 円（3本）

➢ 大阪：218 円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：10/20（前月 6/20）

➢ 大阪：1/10（前月 2/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○195g/人（6月全国平均）

➢ 前月比：88%

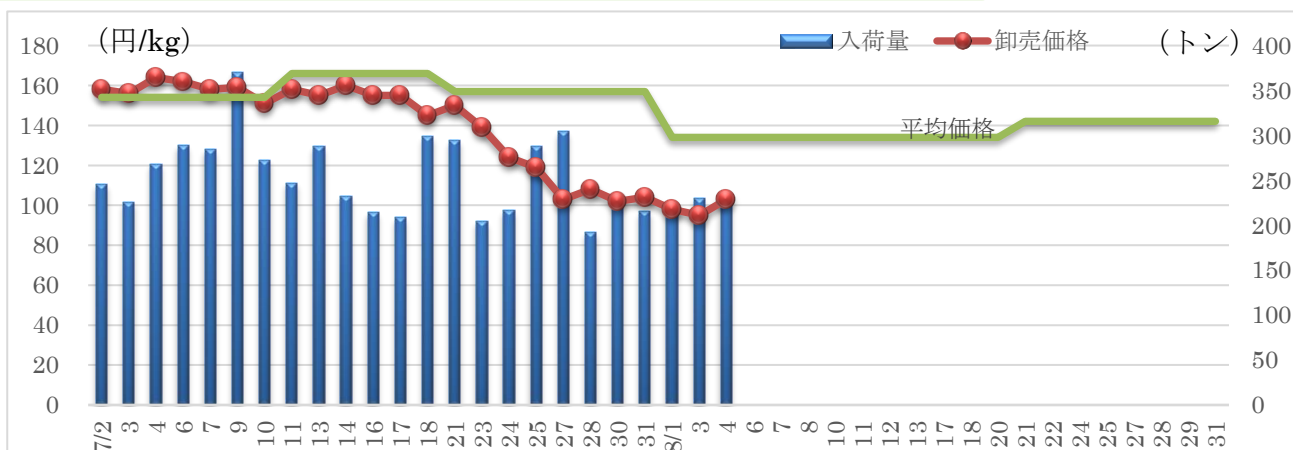
➢ 前年同月比：106%

○2,497g/人（2025 年年間）

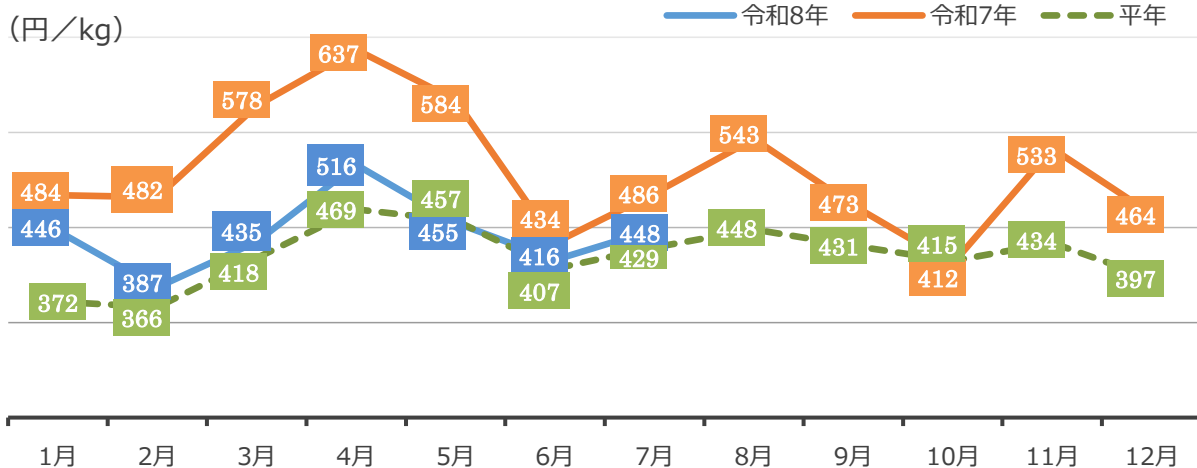
➢ 前年比：98%

（総務省統計局家計調査）

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (7/14)	前年並み	やや良	平年並み	早い
青森県三沢 (7/16)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/21)	前年並み	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みが少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み

(気象庁 1 か月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

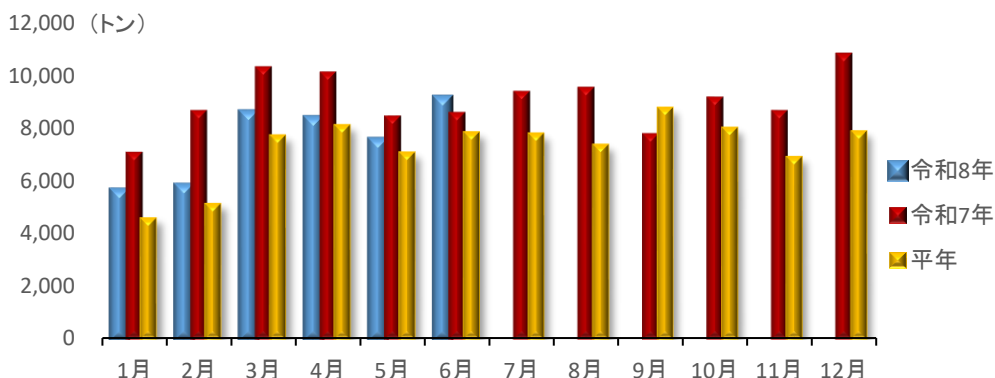
○9,090 トン (6月輸入量)

➢ 前年同月比：106%

○輸入先国ベスト3

- 1 位 中国 8,880 トン
- 2 位 豪州 200 トン
- 3 位 アメリカ 7 トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、千葉産が上旬で概ね終了し、青森・北海道産主体の入荷となった。主産地の生育はおおむね順調の中、北海道産は前進傾向となった。月を通して平年を上回る入荷となった。高温による消費の減退などから、旬を追うごとに価格が下がり、下旬は平年を大幅に下回った。

8月は、青森産から北海道産中心の出荷へと切り替わる。青森産は8月中旬に切り上がる見込み。北海道産は適度な降雨と気温の上昇により生育は前進傾向となっていることから、月の前半の出荷量は平年をやや上回り、価格は平年を下回って推移し、月の後半は出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課